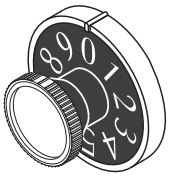
※この説明書は、必ず保管してください。

取付・取扱説明書

郵便受箱/錠前

96ダイヤル錠



お客様の解錠番号 ▼

号室

このシールが製品に貼ってある場合は、ご使用前に必ず製品からシールをはがしてください。

このたびは、96ダイヤル錠〈タジマメイルボックス 専用錠前〉をお買いあげいただきありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をお読みいただき96ダイヤル錠の機能をご理解のうえ、末永くご愛用ください。
お読みになったあとは必ず保管してください。

● 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客さまに特に注意していただきたい事項には、右記のようなマークと見出しをつけています。
この説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をお読みのうえ十分注意してください。

⚠注意	取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示しています。

● 製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口

※お問い合わせの際はご使用の製品名をご確認の上、ご連絡ください。／ 製品名：**96ダイヤル錠**

サービスセンター　フリーダイヤル 0120-090-630　受付時間／平日 9:00〜12:00 13:00〜17:00（土・日・祝祭日は休ませて頂きます）

■郵便受箱/錠前 保証書

1. 保証期間　納品日から2年間（納品書は大切に保管してください）
2. 保証規定　保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に生じた場合、無償で修理致します。

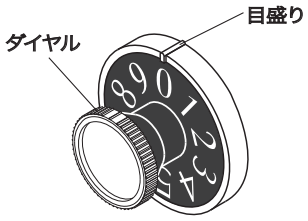
本製品は郵便受箱（タジマメイルボックス）の純正部品です。当社の郵便受箱以外で使用された場合、当社はその責任を負わないものとします。

（1）取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。
（2）取付説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
（3）建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。
（4）塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
（5）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。（6）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
（7）火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。

●保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。
●本書は必ず保管してください。

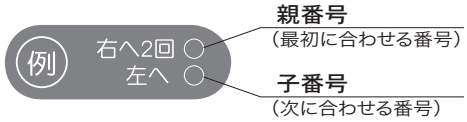
田島メタルワーク株式会社

96ダイヤル錠　取扱説明書

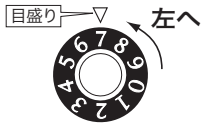
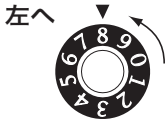
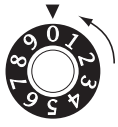
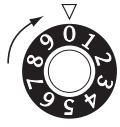


●解錠番号シールの見方

表紙に貼られたシールの親番号と子番号が解錠番号です。



■錠前の操作方法

●操作手順	例　右へ2回 2 左へ 8		例　左へ2回 7 右へ 5
親番号を合わせる （1回目）		**○あける** **親番号**（最初に合わせる番号）を指定方向に回し、2回目盛りに合わせます。 次に**子番号**（次に合わせる番号）を逆方向へ戻して合わせると解錠されます。	
親番号を合わせる （2回目）			
子番号に合わせる			
そのまま		**○しめる** そのまま解錠番号の状態で扉を閉めます。	
1回転以上 まわす		**○かける** 子番号の方向へ1回転以上回します。 （注）1回転以上回さないと子番号を合わせただけで開く場合があります。	

※番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります。親番号は２回以上合わせても支障ありません。

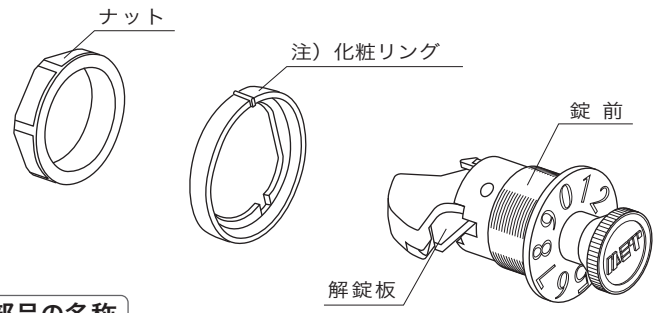
○錠前が開かない場合

1）指定の回転方向に親番号を2回、必ず目盛に合わせてください。（番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります）

2）子番号は親番号を合わせた回転方向とは逆の方向に1回だけ合わせてください。（1回転以上すると再び施錠されます）

3）郵便物をつめ込みすぎると、開かなくなる場合があります。郵便物をため込みすぎないよう、定期的にお取り出しください。
つめ込みすぎて錠前が開かない場合は、投入口から出来るだけ郵便物を取り出し、錠前の施錠部分に隙間を作るようにしてください。

96ダイヤル錠　取付説明書

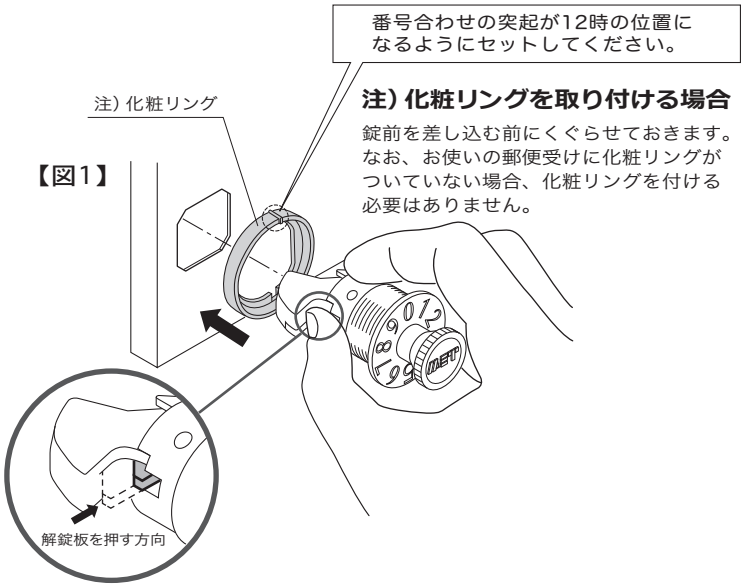


部品の名称

■取付方法

1. 解錠板を押さえながら、錠前を扉に垂直に差し込みます。(図1)
2.ナットを解錠板に押し付けながら回転させてくぐらせます。(図2)
3.錠前のネジ方向に対して水平になるようにナットをねじ込みます。(図3)
4.レンチ等(図4)の工具を使って、ナットを完全に締めます。
5.本体内部の右側面にナンバーシールを貼ります。

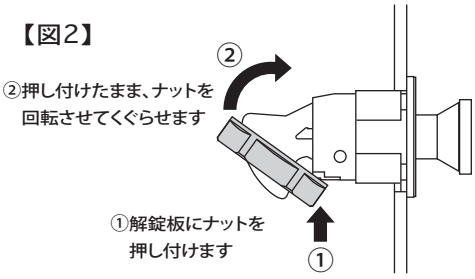
【図1】



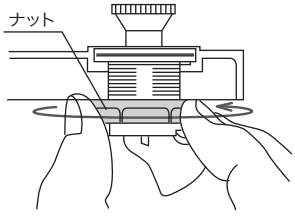
注) 化粧リングを取り付ける場合

錠前を差し込む前にくぐらせておきます。なお、お使いの郵便受けに化粧リングがついていない場合、化粧リングを付ける必要はありません。

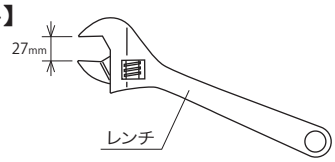
【図2】



【図3】



【図4】

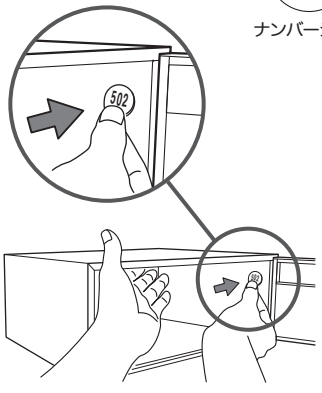


錠前の取り替え注意事項

◇ナンバーシールを貼ってください

同封の丸いナンバーシールは**錠前を管理する番号**です。

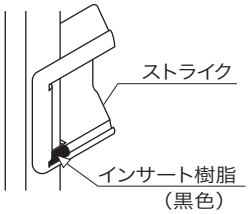
ナンバーシール

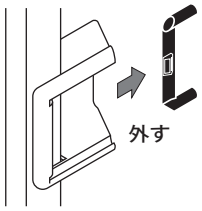


交換前のナンバーシールを剥がした後、本錠前のナンバーシールを必ず所定の位置(本体内部右側面)に貼ってください。

◇インサート樹脂を外します

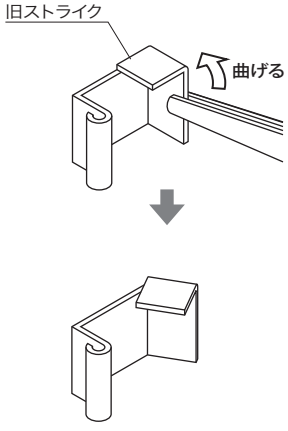
ストライクにインサート樹脂が付いている場合は、インサート樹脂を外してください。外さないと施錠されない場合があります。





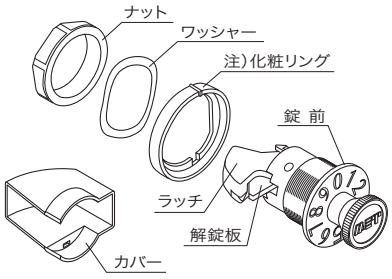
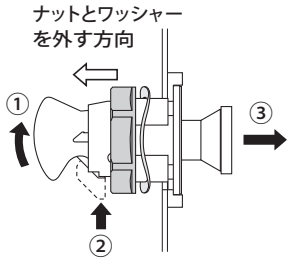
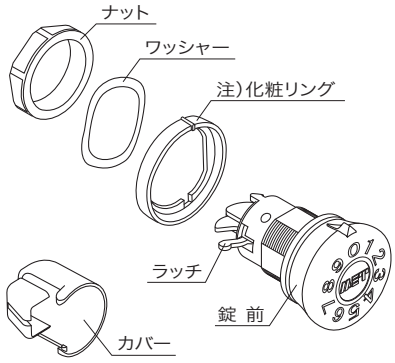
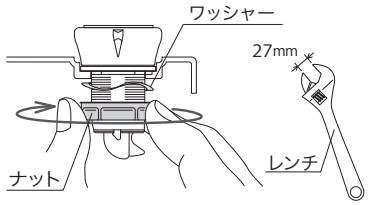
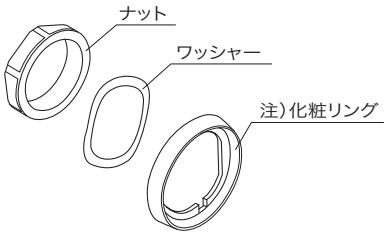
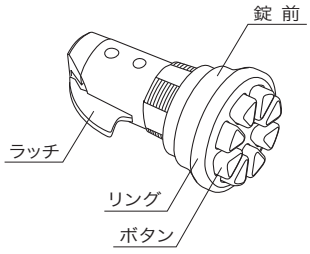
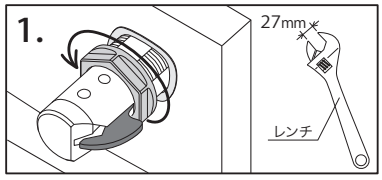
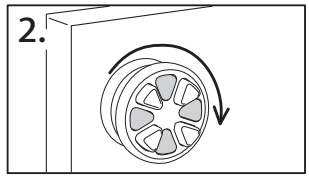
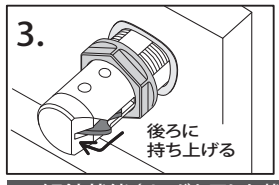
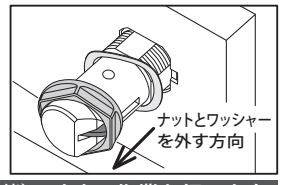
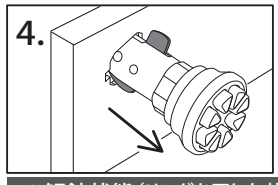
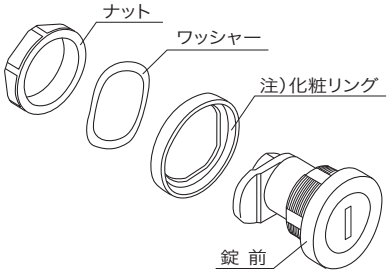
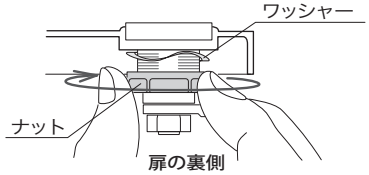
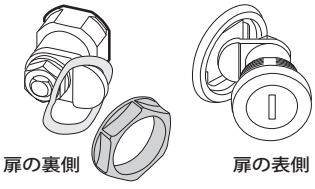
◇旧ストライクは曲げてください

旧ストライクが付いている場合は、ペンチ等の工具を使いストライクを後方に曲げてご使用ください。曲げないと錠前がストライクに当たって施錠できない場合があります。



■各種錠前の取り外し方法

注）2014.4 出荷分よりワッシャーは付属されておりません。
注）機種によっては図の化粧リングを使用していないものがあります。

錠　前		取り外し方
96ダイヤル錠		**1.** レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ※カバーがついてる場合は外します。 **2.** ラッチを①の方向に動かし解錠板を②の方向に押し込んでナットとワッシャーを外します。 **3.** 解錠板を押し込みながら錠前を③の方向へ引き抜きます。 
フリーダイヤル錠 **セットダイヤル錠** **myナンバー錠** **ラッチロック**	 ※カバー（myナンバー錠・セットダイヤル錠のみ）	**1.** レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ※カバーがついてる場合は外します。 **2.** ナットとワッシャーを外します。 **3.** 錠前を扉の表側から引き抜きます。  ◇ラッチがおき上がった状態で取り外すことはできません。その場合は、指でラッチを戻してください。動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。 ラッチがおき上がっている状態　ラッチが戻っている状態
デジタル錠 **オートデジタル錠**	 	 レンチ等の工具を使ってナットをゆるめ、ネジ部分から外します。  解錠ボタンを押してリングを回します ※リングを回したままの状態が**解錠状態**です。   ※解錠状態（リングを回した状態）のままで作業を行います。 ラッチを後ろへ持ち上げて、ナットとワッシャーを引き抜きます。  錠前本体は、扉の表側から引き抜きます。 ※解錠状態（リングを回した状態）のままで作業を行います。
シリンダー錠		**1.** レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 **2.** ナットとワッシャーを外します。 **3.** 錠前を扉の表側から引き抜きます。  

※詳しくは弊社ホームページをご覧ください。
ホームページでは動画もご覧いただけます。 http://www.metalwork.co.jp

田島メタルワーク株式会社

本　　社　〒170-0013　東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル／東部営業部　TEL03-5396-7621(代)　FAX03-5396-7622
サービス課　TEL03-5396-7615(代)　FAX03-5396-7616
横浜営業所　TEL045-470-5388(代)　FAX045-473-0207　名古屋営業所　TEL052-955-3807(代)　FAX052-955-3887
大阪営業所　TEL06-6305-3300(代)　FAX06-6305-3320　福岡営業所　TEL092-504-4475(代)　FAX092-504-4482

©'15.08